

山形県歯科技工士会会報

H29・6

【定時社員総会開催】

5月21日（日）に、第6回定時社員総会が開催された。議長に後藤和雄氏が選任され、出席者18名、委任状52名、計70名で総会は成立した。

平成28年度事業・会計・会計監査が各役員から報告された後承認され、平成29年度事業案・会計案が提示され、承認を受けた。

主な質問と応答は以下の通りです。

Q 会計報告の中の差異の部分が、昔の書き方と違っているので分かりにくい。

A 昔は増減という形で表していたが、現在の差異は、予算額から決算額を引いた額をそのまま表記しているためにこのようになっている。

Q 事業計画案の中で、学術部と組織部の両方に女性部の活動があるが、違う活動をするのでしょうか。

A 昨年度の講習会の時に、学術的な内容だったので学術部からも補助を頂いていて、今年度もそうなることを予想して両方に入れさせて頂きました。

休憩を挟んで引き続き連盟総会が行われ、事業・決算報告の後、事業案・予算案が提示され、それぞれ承認された。

Q 今年は解散選挙が予想されるが、県技では政権与党を応援する事になるのでしょうか。

A 現時点では、日技のほうから要請はないが、県技としては政権与党を支援する事になる。

総会終了後に、会場をイタリア料理の「オステリア・イルペッシュ」に



移動して懇親会が開かれた。美味しい料理とお酒を頂きながら楽しい話に花を咲かせ、店のスタッフの中にYBCラジオなどでおなじみのドンキー佐藤さんを見つけ、一緒に写真を撮らせていただいたりして楽しい時を過ごした。



『共催学術講演会』

尾形 清敏(中央地区)

平成 28 年 12 月 11 日 (日) 午前 1 時より山形県歯科医師会館 4 階大会議室において第 38 回共催学術講演会が開催された。

今回は山形歯科専門学校 50 周年を記念して、鶴岡市出身、山形歯科専門学校歯科技工士科を卒業し、現在はアメリカで開業、世界中で講演活動を行っている遠藤淳吾先生をお招きしご講演いただいた。



まず、遠藤淳吾先生はこの度の 50 周年の記念に呼んでくださってとても有り難いことだとお礼の言葉をいただき、これまでの経緯を写真を通してお話しいただいた。ポーセレンの神様とも言われている Willi Geller

氏との出会い、世界中で 100 人しかいない Geller 氏の Oral Design のメンバーに選出され Geller 氏に出会ったことで人生観が変わったということであった。2016 年の 4 月に行われた東日本大震災のチャリティー講演会の写真で Geller 氏から学んだことや、大阪セラミックトレーニングセンターにいた頃に片岡繁夫先生から学んだことなどお話いただいた。遠藤先生が一番重要視しているのはやはり形態であり、Wax up に時間をかけるそうであった。癖がない歯科の知識の無い人に形態に違和感がないかを見てもらったり、WAX 試適の際には歯牙の色に合わせようと白い WAX を使うと膨張色のため大きく見えてしまうということで、グレーの WAX で試適を行うということであった。そして審美の回復で次に重要なのが歯肉の色をポー

セレンで合わせることであった。インプラント補綴において歯肉の回復も必要であり、柔らかい歯肉を固いポーセレンで再現するのはとても難しいことを教えてくださった。どのように様々な難症例に歯肉色ポーセレンを合わせていったかを症例ごとに教えていただいた。

午後からは「世界規模での歯科業界の変革 (これから求められる歯科技工士とは)」というテーマでお話いただいた。まず今盛んに地域医療が言われているが、地域医療をうたうのであれば歯科技工学校の再建が必要であり、技工士が少なくなっている中で学校がなくなれば益々減少し、地域医療も衰退していくとのことであった。日本人の技術は世界的にも高く、日本の中でダンピングが起きているのはとてももったいないことであり、日本から海外に出すこと、そして世界基準でチャージ料を設定すれば良いと講演いただいた。そして最後にこれからの若い人にアクティブに動いてほしい。山形の発展のために尽力するというお話された。

今回は山形から遠藤淳吾先生のような世界で活躍する技工士がいることで夢や希望など様々な刺激を受けることができる素晴らしい講演会であった。



『村山地区・中央地区共催学術研修会』

～シリコーン系義歯用軟質裏装材「ムコプレソフト」～

村山地区と中央地区の共催での研修会も7回目となり、今回は(株)白水貿易より、佐藤忠彦氏と金子堅一氏を迎えて、下顎総義歯内面適合法軟質裏装材料として保険適用となったシリコーン系軟質裏装材「ムコプレソフト」についての講習会が開催された。



2016年から下顎総義歯内面適合法軟質材料として保険適用となり、今後ますます注目される材料である事もあり、参加者からの多数の質問にも一つ一つ丁寧に答えて頂いた。



ムコプレソフトの最大の特徴は、強い接着力であり、アドヒーズにシリカを含有させる事により、他メーカーの2.3倍の力を有するという事であった。実際、試験片に張り付けたムコプレソフトを剥がそうとしたが、強固に接着していて手の力ではとても剥がせなかった。軟質裏装材の弱点であった接着力の弱さが克服された材料になったと思う。もう一つの特徴は、義歯の切削面にシリコーンシーラントを塗布する事で滑沢な表面を得る事が出来るという事であった。ライニング材と同じ組成であるため、きれいに馴染んでつやつやの面が出来上がっていた。

製品の事を熟知している販売元の先生の講義だけに、分かりやすく説明して頂き、大変有意義な研修会であった。



『新年祝賀会・講演会』

平成29年1月21日(土)に、恒例の新年祝賀会に先立ち、講演会が開催されました。講師に河北町谷地にある和田酒造合資会社勤務の和田弥寿子さんを迎え、「地域と共に歩む酒造り～企業ではなく家業として～」という演題で講演していただきました。

和田酒造の歴史から始まり、酒造りの仕事をやり始めるまでの経過を話され、酒造りに携わってからは、河北イタリア野菜研究会・JR 東日本東北総合サービスとの企画での洋食に合うお酒造り、地元洋菓子店との東北ピクルス製造、東根の漬物店との共同企画など、酒を通して異業種との繋がりが出来たという話を聞いたときは、歯科技工士会も異業種と関わりを持つ事で、何か新しい技術やノウハウなどの可能性が生まれるのではないかと将来に少し希望が見えたような気持ちになりました。

その後、御主人と知り合った事がきっかけで、地元を謙遜して伝えるのではなく、地元のいいところ、素晴らしい処を積極的に人に伝える事が必要なんだと感じたという話、酒造りの工程を説明しながらお酒が出来るメカニズムの話、そして、適量の飲酒が虚血性疾患の割合を下げる効果があるという話を頂きました。和田さんの話から、仕事に対する情熱、酒と地元に対する愛情が感じられ、我々もぜひ見習いたいものだと思います。

講演会の後、講師の和田さんも交えて、新年祝賀会が開かれ、齋藤会長、阿部監事、鈴木理事の計らいで、和田酒造のお酒を提供していただき、美味しい料理と共に堪能しました。



【パソコン購入のお知らせ】

この度、学術部で必要になったためにノートパソコンを購入致しました。購入にあたっては費用を「会館設備及び組織拡充基金」より充当し、理事会で検討し、総会で承認を受けました。

今後、学術の向上の為に使用させて頂きたいと思っておりますので、ご了承を宜しくお願い致します。

